

（件名） 北海道きもの振興会による着物紹介イベントについて**（1）実施の経緯などについて**

「北海道きもの振興会」（会長：島崎 拳氏）のメンバー10名がサハリン州を訪問し、8月25日、着物を紹介するイベントを行ったので報告します。

同振興会は、業界関係者を中心に着物文化の普及を目的に設立された団体で、今回のイベントは島崎会長が在札幌ロシア総領事から「ロシアで着物文化を紹介してもらいたい」との依頼を受けたことがきっかけで企画、実現したものです。

（2）着物イベントの内容について

イベントはユジノサハリンスク市内のサハリン州民芸センターにて開催されました。当日は小雨が降り外気温も13度と肌寒い気候の中でしたが、多くの市民の方が同センターを訪れました。

内容は「着物プレゼンテーション」、「着付け披露」、「浴衣ファッションショー」、「アトラクション」の4部構成で、最初の「着物プレゼンテーション」では、大型スクリーンを用い、島崎会長が着物の歴史や製法、洋装との比較によるTPOの使い分けなどを説明、来場者は熱心に耳を傾けていました。

次の「着付け披露」では、短時間で手際よく帯締めを終え着付けが完成すると、来場者から盛大な拍手や歓声があがりました。続く「浴衣ファッションショー」には、ロシア人男女7名が参加しました。色とりどりの浴衣を着た「モデル」が音楽とともに登場すると、会場からは手拍子が起こり、大いに盛り上がりました。

また、「アトラクション」として、屋内でヨーヨー釣りなどの縁日体験、屋外広場では下駄飛ばし大会が行われ、観客からは盛んな声援が飛んでいました。

（3）今後の取組について

今回、当事務所では、主催者である振興会から依頼を受け、開催の3か月前からサハリン側と議論を重ね、現地市民が日本の着物文化に関心を持ってもらうための企画づくりや、機材手配、会場設営、地元マスコミへの情報提供などの協力を行いました。

イベント終了後、参加者からは、「着物の美しさに驚いた」「着物を着て北海道の街を歩きたい」などの声もあり、高い関心が寄せられたことを感じました。

また、サハリン州の文化部門スタッフと「服装」という新たな分野で協議、協同作業を進める中で、今後の新しい文化交流の可能性を共有することもできました。

引き続きこのような事業の実施・支援を通じ、日本や北海道の魅力をサハリンに広めるとともに、両地域の相互理解を深めるための取組を進めていきます。



〈着付け披露〉



〈浴衣ファッションショー〉



〈下駄飛ばし大会〉